

中学時代に習得すべき**英文法**を、最も**効果的**に学ぶ。

グノーブルの**GSL**学習法とは！

音声を介したグノーブル独自の学習法

清水 公立の小学校から中学受験をなさったお子さんは、受験科目に加えて英語も集中して学習することは難しいため、ほぼ白紙の状態からグノーブルで英語を学び始めるケースがほとんどです。

こうしたことから、新中学1年生対象の入室説明会などで「早くから英語に取り組み始めた生徒さんについて行けるでしょうか」という質問を受けることがよくあります。私たちは「まったく心配ありません」とお答えしています。なぜなら、中学受験を経てきた生徒さんたちには、勉強に取り組む姿勢が身につけているからです。

グノーブルでは、テキストとリンクした音声教材GSLを使い、授業で理解したことを音声を聞きながら反復することで身につける復習の仕組みを構築しています。

日頃の勉強の中でこの「ワークアウト」の習慣をきちんと身につければ、英語に触れた経験の有無を問わず、英語力は向上します。

耳と口を鍛え、英語の思考回路へ

関田 中学時代は、文法をしっかり学ぶことが最重要課題です。ただそれは重箱の隅をつつくように細かいルールを暗記する勉強ではありません。さまざまな基本例文を頭にストックして、臨機応変に引き出せるようにすることが肝心です。そして、その最も効果的な勉強方法がGSLを使ったワークアウトなのです。

テキストに書かれた英文を眺めながら黙々と勉強してみても、丸暗記の勉強では生きた英文法の習得にはつながりません。より高い次元の英語を学ぶためには音声の導きがどうしても必要です。英語を身につけるといのは、他の科目とは少し違う感覚があります。それは、自分の中に英語のロジックを使うもう一人の自分を育てていくという感じです。耳や口と一緒に鍛えて、英語を使う自分をつくりあげていくのです。



せき た ゆういち
関田 裕一
大学受験グノーブル
英語科



しみず まこと
清水 誠
大学受験グノーブル
英語科

また音声を聞き取り、意味を即座に解釈できる知識の積み上げがないと高校生になってから、さらに高いレベルの文章を前にしたとき困ることになります。日本語の思考回路を使って、日本語の語順に変換しながら読んでいる生徒さんと、英語の思考回路を持っている生徒さんとは、スピードも正確さもまるで違います。

中学時代に、英語の型を完成させる

関田 GSLのワークアウトは地道な訓練です。例えるならば、野球のバッターが毎日素振りをしてようやく1つの型を身につけるように、英語(文法)の型を身につけて『使える英語』を習得するためには地道な努力を中学生のうちから毎日続けることが肝心です。東大をはじめとした難関大学に合格したグノーブルのOB、OGの皆さんも、ほとんどこうした努力を積み重ねた方ばかりです。

ただ、大切なのは、まず授業です。授業で理解したことをGSLを使って復習することで、理解が深まり定着する。こうした手順がなくては単なるオウム返しになってしまいます。一度授業で理解したことを再度音声を聞いて、音読、暗唱する。この繰り返しが大事です。きちんとやろうと思えば時間もかかりますし、かなり疲れます。しかし、これをしっかり続けた生徒さんは、中学時代に必ず英語の土台が完成します。

面白いから勉強したい!というサイクル

清水 中学受験を経験している生徒さんは勉強に対して貪欲な傾向があります。理解する喜びを知っているため、どんどん前向きになっていくのです。実際、GSLを使って理解や表現の幅が広がっていき、自分の成長を実感できるのは、中学生にとってはとても面白いことなのです。

「やらなきゃいけない」という義務感で勉強するのではなく、理解できて面白いから「勉強したい」と思える、いい意味でのサイクルがグノーブルの授業でできるはずですよ。



スタートダッシュ講座の英語を受講された方には、4日分のGSL^(※)をCDにして配布いたします。

※GSL:中高6学年すべてにオリジナル音声教材を用意しています。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。